

岡山市文化芸術振興ビジョン

岡山市

平成24年3月

目 次

【本編】

I	背景	1
1	文化・文化芸術とは	1
2	文化芸術振興基本法の制定	1
3	岡山市について	2
II	岡山市文化芸術振興ビジョン	3
1	位置づけ・対象期間	3
2	基本的な考え方	3
	[図] 文化芸術がもたらす効果	4
III	岡山市の現状と課題	5
1	恵まれた文化資源 [もの]	5
2	多彩な人材と芸術文化団体 [ひと]	6
3	市民からの期待 [これから]	8
	<芸術文化団体の声>	9
	<国民文化祭アンケートの結果から>	10
IV	岡山市の文化芸術振興の方向性	11
	[図] 目的-テーマ-現状	
V	基本的な方針	13
1	市民が気軽に文化芸術に親しめる岡山市 (テーマ1 【したしむ】)	
	(1) 市民の鑑賞機会の確保・促進	13
	(2) 市民参加の促進	14

2	文化芸術を担う創造力豊かな人材の育成（テーマ2【はぐくむ】）	
(1)	担い手の育成	15
	[図] 文化芸術を担う人材の循環	17
(2)	子ども・青少年の支援	18
(3)	芸術文化団体間の連携・支援	18
3	文化芸術の活動環境の向上（テーマ3【ささえる】）	
(1)	活動環境の向上	19
(2)	様々な支援のかたち	20
4	文化芸術を次世代へつなぎ、人と人が交流する岡山市（テーマ4【つなぐ】）	
(1)	交流促進	21
(2)	魅力向上	22
VI	推進体制・進行管理	24
(1)	市民・芸術文化団体・NPO	24
(2)	民間企業・民間の財団等	24
(3)	行政機関・教育機関	24
	<岡山市役所内の関係課>	25
(4)	市内文化施設	25
(5)	外郭団体	25
	<岡山市の外郭団体>	25
	<岡山県の文化関係団体>（参考）	26
	[図] 推進体制	27
	[表] テーマ別 おもな事業一覧	28
	効果指標	31

【資料編】

I	用語集
II	岡山市の指定文化財件数
III	国指定文化財一覧
IV	岡山市内の民俗文化財

【本 編】

I 背 景

1 文化・文化芸術とは

文化は人の心を豊かにするとともに、人と人をつなぎ、相互に理解し尊重し合う土壌を育て、心豊かな社会を形成するものです。また、地域の文化は、歴史や風土とそこに暮らす人々の営みから育まれてきたものであり、その地域の個性を表すものです。さらに、人々の地域への愛着をより深めるとともに、地域を輝かせ、活力とにぎわいをもたらすものでもあります。

現在のわが国は、国際化の進展、経済のグローバル化、長引く景気の低迷、少子高齢化に伴う地域コミュニティの変容、環境問題や相次ぐ自然災害など、時代の潮流にさらされており、こうした変化が著しい社会情勢の中では、文化は心のよりどころとして、さらには人と人、人と地域を結ぶ絆としての重要性をいっそう増しているといえます。

文化とは、広義に定義づけると衣食住や生活様式など「人の生活すべてにまつわるもの」に広がっていきます。しかしながら、本市の施策方針を策定するにあたっては、対象や範囲をある程度限定した方が効果的であり、ここでは、平成13年に制定されたわが国の文化芸術振興基本法にならい、音楽、舞踊、演劇、美術、伝統芸能、文学、華道、茶道、書道など、いわゆる「文化芸術」を基本としながら、史跡をはじめとする文化財、民俗芸能や習俗、食文化などの歴史文化資源や、魅力ある街並み・景観の保護なども含めた、広範な解釈をしていきます。

《参考》文化芸術振興基本法に例示された対象分野

- ・芸術（文学，音楽，美術，写真，演劇，舞踊等）
- ・メディア芸術（映画，漫画，アニメーション及びコンピュータ等を利用した芸術）
- ・伝統芸能（雅楽，能楽，文楽，歌舞伎等）
- ・芸能（講談，落語，浪曲，漫談，漫才，歌唱等）
- ・生活文化（茶道，華道，書道等）、国民娯楽（囲碁，将棋等）
- ・文化財、出版物等

2 文化芸術振興基本法の制定

第二次世界大戦の終結から間もない1948年に国連総会で採択された世界人権宣言で、「すべて人は、自由に社会の文化生活に参加し、芸術を鑑賞し、及び科学の進歩とその恩恵とにあずかる権利を有する。」（第27条 第1項）とされました。

わが国でも、内閣府が平成21年度に行った「文化に関する世論調査」によれば、日常生活における文化芸術の体験・活動が「大切だ」と考えている人は90%近くに

およんでいます（「非常に大切だ」 28.6%、「ある程度大切だ」 59.8%）。

平成13年、議員立法により成立した文化芸術振興基本法（同年、公布・施行）では、「文化芸術を創造し、享受することが人々の生まれながらの権利であること」（第2条第3項）が、改めて確認されました。同法は、文化芸術の振興について基本理念を定め、国及び地方公共団体の責務を明らかにし、施策の基本となる事項を定め、文化芸術に関する活動を行う者の自主的な活動の促進を旨として施策の総合的な推進を図ることにより、「心豊かな国民生活及び活力ある社会の実現に寄与する」ことを目的としています（第1条）。また、「文化芸術活動を行う者の自主性が十分に尊重されなければならない」（第2条）ともうたわれています。

この法律では、政府は文化芸術の振興に関する基本的な方針（基本方針）を定めることとされており（第7条）、平成14年2月の第1次基本方針、19年2月の第2次基本方針を経て、23年3月には第3次基本方針が策定されました。第1次基本方針の中で、地方公共団体は「基本的な方針等に基づき施策を進めること」が望まれる、とされており、現在、岡山市を除く18政令指定都市のうち17都市において基本方針が策定されています（名称は「指針」、「ビジョン」、「計画」等を含みます）。

3 岡山市について

本市には、古代吉備の時代から中世・戦国時代、江戸時代を経て明治・大正・昭和そして現代へと積み重ねられてきた豊かな文化の歴史があり、現在も、数多くの文化資源と多彩な人材に恵まれています。

本市はこうした豊かな文化資源や多彩な人材を活かしたまちづくりという視点に立ち、昭和59年3月に「文化的な視点にたった都市づくり構想」を策定し、平成8年2月にはその成果を「文化の薫るまちづくりに向けて～これまでの軌跡～」として報告書としてまとめるなど、文化的視点にたったまちづくりに取り組んできました。

そして平成21年4月に、本市は全国で18番目の政令指定都市に移行しましたが、これに先立つ同年3月には、都市づくりの中長期的な指針である「岡山市都市ビジョン〔新・岡山市総合計画〕」を策定し、政令指定都市・岡山のさらなる発展に向けて、様々な取組を進めております。

様々な分野での市民主体の文化芸術活動が今日に引き継がれる中、平成22年度に「晴れの国おかやま 文化回廊」のテーマのもと、本県で開催された第25回国民文化祭・おかやま2010は、本市主催の8事業において170団体、6,171人の出演者、1,354人のボランティアスタッフが力を合わせて成功をおさめたところであり、現在の岡山市では、市民が主体となって文化芸術を発展させていくという気運がいつそう高まっています。

Ⅱ 岡山市文化芸術振興ビジョン

1 位置づけ・対象期間

本市では、「岡山市都市ビジョン [新・岡山市総合計画]」（以下、「都市ビジョン」といいます。）において、「水と緑が魅せる心豊かな庭園都市」、「中四国をつなぐ総合福祉の拠点都市」をめざす都市像に掲げ、その中で、「文化力で岡山の誇りを高める」ことを都市づくりの基本方向の一つに位置づけています。その実現に向けた道筋を示すため、国民文化祭の成功によって文化芸術振興に対する市民の気運が高まっている現在を好機ととらえ、「岡山市文化芸術振興ビジョン」（以下、「振興ビジョン」といいます。）を策定します。

振興ビジョンは、文化芸術振興基本法の目的・理念にのっとり、本市の都市ビジョンをふまえて、岡山県や近隣自治体との連携を図りながら、「文化力で岡山の誇りを高める」ために、どのような施策を展開すべきかという方向性を定めるものです。

文化芸術は世代を越えて受け継がれていくべきものであり、長期的視点で推進していかなければなりません。その一方で、施策としては社会情勢や市民ニーズの変化に柔軟に対応することも求められています。このため、都市ビジョンの最終年次である平成37年度を目標とし、その中間年で前期計画の終期にあたる平成28年度までを当面の対象期間とします。

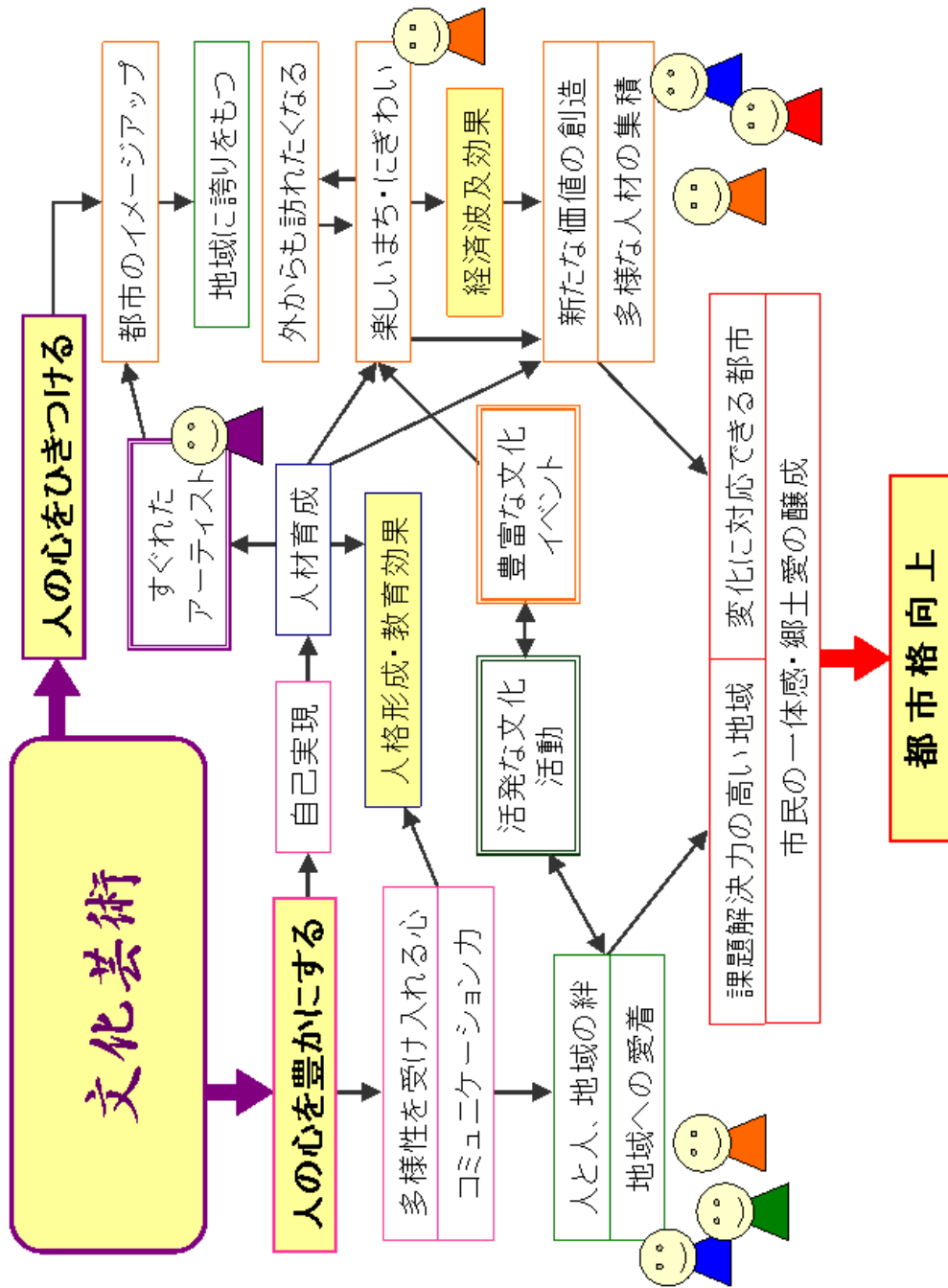
なお、振興ビジョンの推進にあたっては、別途策定が予定されている「都心創生まちづくり構想」や「都市マスタープラン」など市が策定する構想、計画等と整合を図りつつ、期間中に社会情勢の変化等により、振興ビジョンの内容が都市ビジョン実現のための方策としてそぐわなくなった場合には、その都度、見直しを行っていきます。

2 基本的な考え方

文化芸術は、表現する人にも鑑賞する人にも心の潤いをもたらすものであり、もちろんそれ自体にも価値がありますが、次ページの図のように、人と地域、社会にもたらす効果も様々であることから、こうした点も視野に入れた施策が求められています。

このため、市民が主役という理念のもと、行政と民間がそれぞれの得意分野を活かして連携・協力を図り、全市的な取組をめざします。

文化芸術がもたらす効果



Ⅲ 岡山市の現状と課題

1 恵まれた文化資源 [もの]

【カルチャーゾーン】

岡山市には、岡山駅からほど近いエリアに岡山城・岡山後楽園という歴史のシンボルが存在し、その周辺には、美術館、博物館、ホールなどの文化施設が集中していることから、一帯は「岡山カルチャーゾーン」と呼ばれています。これらの施設はほぼ徒歩圏内にあり、旭川、岡山城、岡山後楽園の風景と風情あるまち並みが歩いて楽しいエリアを形成しています。「岡山カルチャーゾーン」の各文化施設は、それぞれの個性を活かした展示やイベントを行い、市民に親しまれています。また、地域住民によるまちづくりの気運も高まっており、中心市街地活性化の面からも、個々の施設に「行って帰る」のではなく、近隣の商業施設・商店街や飲食店、文化施設との連携を強め、エリアの魅力を最大限に活かして回遊性を高めることにより、いっそうのにぎわいを創出することが求められています。

【西川緑道公園】

岡山駅周辺には、「水と緑が魅せる心豊かな庭園都市」の象徴とも言える西川緑道公園があります。昭和57年度に整備が完了し、平成19年度から23年度にわたって再整備された西川緑道公園は、市中心部を南北に流れる西川用水の兩岸を緑地公園としたもので、およそ100種類の樹木約3万8千本が植えられ、広場や水上テラスでは様々なイベントも開催されるなど、都心のオアシスとして親しまれています。昭和49年度から平成22年度まで「西川緑道まつり」が毎年開催され、平成22年度からは「花・緑ハーモニーフェスタ in 西川」が始まり、西川緑道公園の魅力を広く来訪者にPRする目的で、公募による音楽やダンスのステージ、アートの展示など市民参加による文化芸術の発表の場にもなっており、文化芸術にたずさわる人々と地域住民、来訪者の交流の輪が広がる場として期待されています。

【歴史文化資源】

岡山市内の国指定史跡は、岡山城跡、高松城跡（秀吉の水攻築提跡）、大廻小廻山城跡をはじめ18か所あり、数としては奈良県明日香村に次いで全国第6位となっています（平成20年度調査）。こうした史跡をはじめ多種多様な文化財が、専門家による研究や次代への確実な継承がなされるとともに、幅広い市民がその価値を知り、地域の歴史に思いをはせることができるよう、歴史文化資源として親しみやすく紹介することが求められています。

【市内各エリアの多様な文化】

広い市域をもつ岡山市には、造山古墳や吉備津神社、吉備津彦神社、高松城跡、足守陣屋町などの歴史文化遺産、西大寺会陽（はだか祭り）や獅子舞をはじめとする伝

統行事や郷土芸能、烏城彫り、烏城紬、撫川うちわなどの伝統工芸、さらには干拓・新田開発の歴史をはじめ、それぞれの地域に根差した生活文化や食文化などがあり、地域の人々により大切に守られ、世代を越えて継承されています。こうした貴重な歴史文化資源は、エリアを越えて市民で共有することにより、さらに魅力を増すこととなります。

その一方で、新興住宅地などでは、住民同士の交流を進めるために、子どもから大人までたくさんの地域住民が参加する音楽・ダンスなどのイベントを定期的に開催しているところもあります。これは、文化芸術が地域の絆を深めるための手段として活用されている好例とも言えます。

《着眼点》

- ◇カルチャーゾーン（岡山城、岡山後楽園、美術館、博物館、ホールなど）
- ◇西川緑道公園
- ◇歴史文化資源（史跡、名勝、建造物、工芸品、民俗文化財など）
- ◇市内各エリアの多様な文化（伝統行事、郷土芸能、伝統工芸、食文化など）

2 多彩な人材と芸術文化団体【ひと】

【様々な活動拠点】

文化芸術にたずさわる人材・指導者やその活動の基盤となる団体など、文化芸術の担い手が充実していることも、文化芸術の発展において欠かすことができません。

本市では、生涯学習の拠点施設として、概ね中学校区に一館ずつ、合計37館の公民館を設置しており、それらは、それぞれの地域特性をふまえた主催講座やクラブ講座などを行っているほか、様々な市民活動の拠点となっています。平成26年に日本で開催される国連の国際会議の開催地に岡山市と愛知県・名古屋市が選ばれたことで注目されているESD（持続可能な開発のための教育）においても、大学・学校および公民館を拠点とする市民やNPOの活動が高く評価されています。ESDは、環境、経済、多文化共生、国際理解など、様々な分野を対象としますが、公民館では、おもに歴史や自然に関する学習から地域活動、健康づくり、パソコンなど、幅広い学習テーマの中で、文化芸術分野の講座や活動も盛んに行われています。また、市の施設としては市民生活に最も身近な存在であり、地域づくりの拠点としての機能も担っていることから、文化芸術を市民間交流や地域の絆づくりにつなげる場としても可能性を持っています。

さらに、健康・福祉の拠点施設であるふれあいセンター（市内5か所）や人権福祉の拠点施設である福祉交流プラザ（市内10か所）なども生涯学習施設としての役割を持っており、様々な講座や発表の場として、文化芸術に関わっています。また、地

域づくりの拠点として概ね小学校区ごとに設置され、地域住民が運営するコミュニティハウスも市内に76か所あり（平成24年3月現在）、文化芸術の講座や発表会に利用されています。市内の岡山県天神山文化プラザ、県生涯学習センターも、文化芸術活動の拠点としての機能を持っています。

そのほか図書館では読書だけでなく本や文学・文芸に関する市民活動が行われており、オリエント美術館やデジタルミュージアムも鑑賞の場としてだけでなく、市民参加の講座やワークショップが行われています。

【市民参加の土壌】

本市の芸術文化団体登録制度では、音楽、舞踊、演劇、美術、伝統芸能、美術、文芸、茶道、華道など、多岐にわたるジャンルから194団体が登録しています（平成24年3月現在）。

昭和38年にスタートし平成24年度に記念すべき第50回を迎える「岡山市芸術祭」は、こうした芸術文化団体やグループの参加による総合的な芸術文化フェスティバルで、毎年、9月～12月を中心に、音楽、舞踊、演劇、伝統芸能、美術、文芸、華道など、多彩なジャンルの事業が展開され、気軽に芸術文化にふれることができる機会として市民に親しまれています。

このほか、平成22年度に開催された第25回国民文化祭・おかやま2010では、本市が主催した8事業（合唱、マーチング・パトントワーリング、オーケストラ、日本舞踊、邦楽、華道展、美術展（書）、大茶会）合わせた出演者は6,171名、ボランティアスタッフは1,354名、来場者は34,310名にのびりました。こうした数字だけでなく、出演者とボランティアスタッフが自ら企画に参加し、ともに裏方に回り、協力し合って成功に導いた経験と、培われたノウハウも大きな財産です。

このように市民参加の芸術祭が長年続いていること、国民文化祭で発揮されたパワーからみて、本市には市民が文化芸術に親しむ土壌があると言えます。

《着眼点》

◇豊富な拠点施設の活用

（公民館、ふれあいセンター、福祉交流プラザ、コミュニティハウス、図書館等）

◇幅広いジャンルの芸術文化団体、指導者等の人材が活躍

（市の登録団体は194団体／平成24年3月現在）

◇市民参加の気風と市民が文化芸術に親しむ土壌がある

3 市民からの期待【これから】

【政令指定都市への期待】

政令指定都市移行元年に当たる平成21年度に実施した「市民意識調査」の中で、「政令指定都市になった岡山市に対し、今後期待することは何ですか。」（複数回答）との問いに対して、「区役所などサービス窓口の充実（37.7%）」、「都市の魅力アップ（33.6%）」、「全国的な知名度アップ（23.5%）」、「人・もの・情報の交流促進（18.2%）」、「芸術・文化イベントの開催（16.9%）」などの回答が上位でした。この結果から、本市には、生活上の便利さを求めるだけでなく、都市としての魅力や知名度アップ、そしてその手段としての芸術・文化イベントの活用が期待されていることがわかりました。市民サービスの充実とともに、中四国の交通の結節点としての本市の優位性を活かしながら、こうした市民の期待に応えることが求められています。

【魅力ある文化芸術イベント】

市が実施している大規模な文化芸術イベントとしては、「おかやま国際音楽祭」があります。この音楽祭は、平成6年に岡山シンフォニーホール開館3周年を記念して市民参加の音楽祭として始まった「おかやま音楽祭」を、平成19年に衣替えしたもので、政令指定都市にふさわしいにぎわいをもたらすことをめざしています。有名アーティスト・楽団を含むプロからアマチュアまで、多彩なジャンルのアーティストの出演によるエンターテインメントと市民参加の両立、プロをめざす若手ミュージシャンの発掘・育成など、斬新な企画が盛りだくさんですが、さらに国内外において「岡山市」がブランド力を獲得する一大イベントへと高めていくことが求められています。

また、「おかやま国際音楽祭」と同時期には「秋のおかやま桃太郎まつり」が開催されており、岡山城を中心に、戦国武将・宇喜多秀家（豊臣五大老・岡山城を築城）にちなんだイベントや、獅子舞や和太鼓などの郷土芸能ステージ、地産地消の食の市など郷土文化を前面に打ち出したイベントの展開により、市内外からの来訪者との交流が図られています。

【文化芸術による都市の魅力向上】

このほか、文化芸術面からの都市の魅力向上へのアプローチとして、昭和60年に始まった「坪田譲治文学賞」があります。刊行物の中から「大人も子どもも共有できる世界を描いたすぐれた作品」を選び表彰することで、文壇に坪田譲治氏の名をとどめ、氏の業績を顕彰するとともに、氏が生まれ育った岡山との関わりなどを発信しています。歴代の受賞者の中からは、のちに芥川賞、直木賞を受賞する作家が現れるなど、文学界・出版界において注目される賞となっていますが、さらに一般に広く浸透させることが課題となっています。

現在、本市ではおもにこのような取組を行っていますが、文化芸術を通じた交流の

拡大により都市イメージ・知名度が向上すれば市民が地域への誇りと愛着を強め、地域の絆が深まるなど、波及効果は一層大きくなります。このため、これからは事業内容の充実と同時に、国内外に向けた本市のPR活動にも力を入れていくことが求められています。

《着眼点》

- ◇交通の結節点という利便性を活かした人・もの・情報の交流促進と、それに伴う都市の魅力向上、全国的な知名度アップ
- ◇文化芸術イベントと観光事業等との連携による相乗効果
- ◇本市のPR活動の強化

＜芸術文化団体の声＞

振興ビジョンの策定にあたって市内の芸術文化団体に対してアンケートおよびヒアリング調査を実施しました。アンケート調査では、市登録団体163団体、それ以外の団体61団体の計224団体から回答をいただきました。回答いただいた団体のジャンルは、音楽、舞踊、演劇、伝統芸能、美術、書道、文芸、茶道、華道等、多岐に渡りました。そのおもな内容は以下のとおりです。

（岡山市の文化向上のための方策）

- ◇市民と行政の連携・支援
- ◇広報宣伝・ニーズ把握
- ◇発表場所（施設）の充実

行政に対しては、支援を期待するだけでなく、市民との連携を期待する声が多数ありました。「すでに人材はいるので、団体間の交流を後押ししてほしい」、「活動・発表の機会をつくってほしい」、「広報活動を支援してほしい」、「活動に役立つ情報の集約・提供をしてほしい」等のご意見がありました。

広報宣伝の強化やニーズ把握が挙げられているのは、集客アップを図りたい、との思いからです。

発表場所（施設）の充実に関しては、「予約がもっと容易になるようにしてほしい」、「バリアフリー化」、「楽屋・リハーサル室の充実」のほか、「公演等の際に技術面で施設職員のサポートがほしい」、という声もありました。

(困っていること)

- ◇会員数の確保・高齢化
- ◇発表場所（施設）が取れない、使いにくい
- ◇活動に費用がかかる

会員数については、そのジャンル自体の人口が少ない（減っている）場合と、人気のあるジャンルで新しい団体は生まれているが、個々の団体については世代交代ができていない、という場合とが見受けられました。

発表場所（施設）については、「競争率が高く、予約に苦労する」、「施設の使い勝手がよくない」、「費用がかさむ」というのが代表的なご意見でした。

活動に費用がかかるのは共通の悩みですが、ジャンルによって幅があり、公演等の際の負担がかなり大きくなる場合もあり、そのため新しいメンバーを誘いづらい、という声もありました。

《着眼点》

- ◇文化芸術の担い手は積極的だが、次世代の育成に危機感を感じている。
- ◇施設に関しては、活動のジャンルによってニーズが異なる場合がある。

<国民文化祭アンケートの結果から>

本市では、平成22年度に開催された「国民文化祭おかやま2010」の会場で来場者・出演者を対象とするアンケート調査を実施しました。おもな内容は、以下のとおりです。

(文化芸術を鑑賞する頻度)

文化芸術の鑑賞に「よく行く」＋「たまに行く」は合わせて65%でした。「ほとんど行かない」は17%で、その理由で最も多いのは「時間がない」で、「情報が入手しにくい」、「費用がかかる」が続きました。

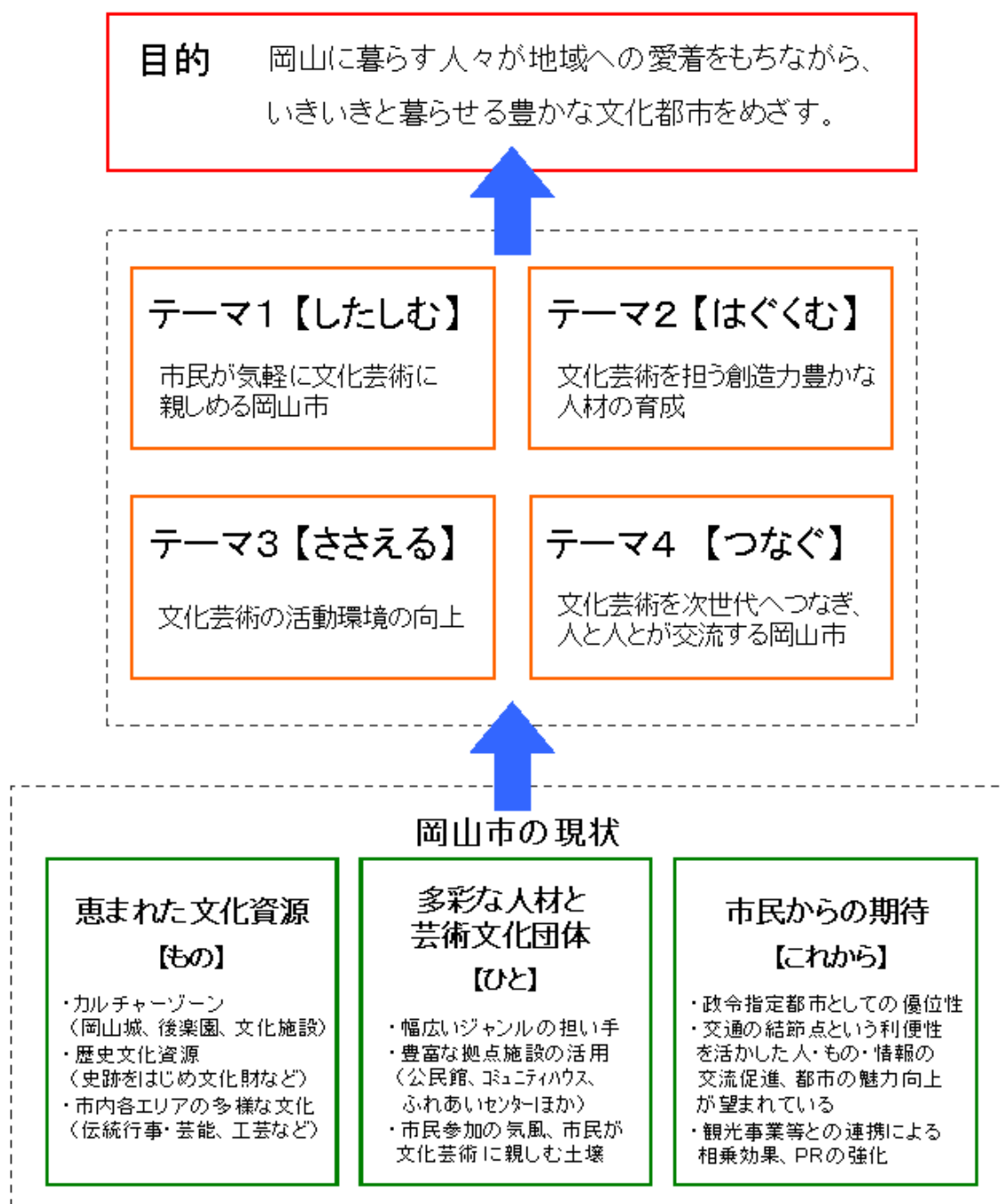
(催しや活動について)

本市は文化芸術に関する催しや活動が「盛んだ」と感じている人は、「やや盛んだ」を合わせると32%でした。

自分自身の文化芸術活動については、「している」27%、今はしていないが「是非したい」＋「機会があればしてみたい」が合わせて31%でした。「特に興味はない」は11%でした。

IV 岡山市の文化芸術振興の方向性

「岡山に暮らす人々が地域への愛着をもちながら、いきいきと暮らせる豊かな文化都市」をめざします。この目的実現のために、どこに向かってどのように進めばよいのか、というテーマを4つに整理しました。



テーマ1【したしむ】市民が気軽に文化芸術に親しめる岡山市

【期待される効果】

- ・ 市民が心のよりどころを得る、自己実現につながる
- ・ 感性が豊かになり、コミュニケーション力が養われる

【方向性】

既存の文化資源、多彩な人材を活かし、そのネットワークづくり等を通じて、市民がいつでも気軽に文化芸術を楽しめる環境をつくる。文化芸術に親しんでいる市民、そうでない市民、それぞれに応じて参加・鑑賞の促進を図っていく。

テーマ2【はぐくむ】文化芸術を担う創造力豊かな人材の育成

【期待される効果】

- ・ 人材育成に重点的に取り組むことにより、テーマ1「したしむ」、テーマ4「つなぐ」の実現につながる

【方向性】

「表現する人」、企画やスタッフとして「参加する人」、「支援する人」など、文化芸術のあらゆる担い手を育成する。子ども・青少年の育成に重点的に取り組む。

テーマ3【ささえる】文化芸術の活動環境の向上

【期待される効果】

- ・ 人材育成に取り組む一方で、文化芸術の担い手の負担を軽減することにより、さらなる活躍が期待される

【方向性】

会場の確保や事務手続などの負担軽減のため、施設や各種手続に関する情報を集約し、わかりやすく提供する。施設間の連携を図り、利用者の利便性を高める。

テーマ4【つなぐ】文化芸術を次世代へつなぎ、人と人とが交流する岡山市

【期待される効果】

- ・ 市民が郷土への誇りと愛着を感じ、郷土の文化を次世代に引き継ぐ
- ・ 地域の絆が深まることで、地域の課題解決力が向上する
- ・ 都市イメージが向上し、外から訪れる人が増える
- ・ 多彩な人材が集積し、社会経済面で新たな価値を生み出す

【方向性】

文化芸術それ自体の価値だけでなく、人と人、人と団体、団体と団体をつなぎ、輪を広げ交流促進するという効果を重要テーマと位置づけて文化芸術の振興を図っていく。市内外から人が集うよう、魅力向上を図る。

V 基本的な方針

1 市民が気軽に文化芸術に親しめる岡山市（テーマ1【したしむ】）

（1）市民の鑑賞機会の確保・促進

市民一人ひとりが「心の豊かさ」を実感するためには、日常生活の中で文化を感じ、ゆとりや潤いをもてる環境が大切です。市民生活が文化芸術を通じてさらに充実すれば、経済活性化や産業発展といった波及効果にもつながります。

文化芸術にふれる第一歩は鑑賞です。鑑賞は参加や支援の土壌づくりにもなることから、まずは見て、聴いてもらうよう、幅広い市民に鑑賞機会を提供することが重要です。

鑑賞機会としては、レベルが高く高額でも集客できるもの、レベルは高いが気軽に鑑賞できるものから、ぐっと身近で気軽なものまで、多様な選択肢があることが望まれます。民間と行政がそれぞれの得意分野を活かしながら、市全体として多様なニーズに応じていけるよう、役割分担と連携を図ることが肝要です。

また、せっかくの鑑賞機会があっても、市民に届かなければ意味がありません。世の中に情報があふれている中で、興味をもち、見に・聴きに來てもらえるような、わかりやすい情報提供のあり方を、インターネットを含め、受け手の年代やライフスタイルを考慮しながら検討していきます。

《着眼点》

- ◆まずは鑑賞から。鑑賞は参加や支援の土壌づくりにもなる。
- ◆民間と行政の役割分担・連携により、多様な鑑賞機会を提供する。
- ◆わかりやすい情報提供により、鑑賞のきっかけをつくる。

《おもな事業等》

- 岡山市芸術祭、おかやま国際音楽祭の魅力向上
[文化振興課、(財)岡山市スポーツ・文化振興財団]
- 文学フェスティバルの開催 [文化振興課、図書館、文学館など]
- 魅力ある展示・公演の開催
[オリエント美術館、デジタルミュージアムはじめ各文化施設（公立・民間）]
- 公民館、図書館、美術館でのコンサート実施
(ロビーコンサート、文化祭での活動成果の発表など)
[公民館、図書館、美術館]

- 岡山フィルハーモニック管弦楽団によるコンサート実施、
(財)岡山シンフォニーホールによる自主文化事業
[(財)岡山シンフォニーホール]
- 展示・公演・イベント情報の広報の充実強化(文化芸術ポータルサイト)
[文化振興課、(財)岡山市スポーツ・文化振興財団]

(2) 市民参加の促進

岡山市は、従来から多様な芸術文化団体や人材に恵まれており、公民館やふれあいセンター、福祉交流プラザ、コミュニティハウスなどが地域の活動拠点としての役割を果たすなど、市民が文化芸術に親しむ土壌があります。その一方で、忙しい、きっかけが無い、などの理由で日常生活の中で文化芸術にふれることがあまりない、という市民も少なくありません。

現在、文化芸術の発表の場としては、市民生活に身近な公民館等での事業のほか、岡山市芸術祭、おかやま国際音楽祭、市民の童話賞、市民の文芸、アートロード美術館などがあり、デジタルミュージアムやオリエント美術館、岡山県天神山文化プラザ、岡山県生涯学習センター、民間ではルネスホール、さん太ホール、さん太ギャラリーなどにおいても発表、鑑賞、ワークショップ等の様々な市民参加の機会があります。これらのさらなる周知・浸透を図るとともに、ニーズのきめ細かな把握に努め、それに応じた内容の充実発展と連携を図ります。さらには、芸術文化団体等の協力を得ながら、ワークショップ等の参加体験型イベントの充実を図ります。

さらに、文化芸術には子どもの健全育成や高齢者の生きがいつくり、障害者の社会参加のツールとしてなど様々な機能もあります。こうした文化芸術の活用を、ユニバーサルデザインの視点に立ちながら、関係部署間で連携して進めていきます。

また、様々な主体が実施する事業や活動の情報を集約し、効果的な発信をすることにより、市民参加を側面から支援します。情報手段としては、現在は新聞・テレビ等の影響力が大きいですが、マスメディアでは大きく扱われないものの中にもすぐれたものがあります。個人の価値観やライフスタイルの多様化に合わせ、携帯電話・スマートフォンを含めたウェブサイト、ブログ等を活用した情報発信に努めていきます。

《着眼点》

- ◆現在行っている事業の周知・浸透
- ◆きめ細かいニーズ把握に努め、参加体験型イベントを充実
- ◆子ども、高齢者、障害者を対象とする施策との連携
- ◆市民参加に役立つ情報の集約・発信

《おもな事業等》

- 岡山市芸術祭、おかやま国際音楽祭の開催・充実、
市民の童話賞、市民の文芸の継続発展
[文化振興課、(財)岡山市スポーツ・文化振興財団]
- 西川パフォーマー事業の実施 [庭園都市推進課]
- 講座・クラブ・発表会、ワークショップなどの実施
[公民館、ふれあいセンター、福祉交流プラザ、コミュニティハウス、
オリエン特美術館、デジタルミュージアム、各施設(公立・民間)など]
- 障害者の芸術・文化活動の充実 [障害福祉課]
- 各種イベントでの演奏・ダンスなど出演機会の創出 [各担当課]
- 園児・児童・生徒の写生大会、絵画・ポスター募集などを通じた
創作機会の創出 [各担当課]
- (財)岡山シンフォニーホールによる音楽活動普及事業
[(財)岡山シンフォニーホール]
- 芸術文化団体の活動に関する情報提供(文化芸術ポータルサイト)
[文化振興課、(財)岡山市スポーツ・文化振興財団]

2 文化芸術を担う創造力豊かな人材の育成(テーマ2【はぐくむ】)

(1) 担い手の育成

文化芸術の発展には、それを支える担い手の育成が欠かせません。担い手育成
というと、音楽を演奏したり、絵を描いたり、といった表現者に目が向きがちで
すが、舞台や展示などの裏方に必要な技術を持った人、すぐれた企画を立てたり、
マネジメントができる人、イベントに伴う事務手続や調整が得意な人など、あら
ゆる持ち場で活躍する人材が必要とされています。例えば、岡山の夏の風物詩と
して定着している「うらじゃ踊り」は、若者だけでなく子どもから高齢者まで幅
広い年代の人が参加して、年々、盛り上がりを増していますが、踊りの指導や音
楽、衣装、メイク、機材の準備はもちろん、道路の使用許可等の手続まで、市民
がそれぞれに分担するなどして、陰で支えています。こうした多様な人材の充

実・集積は、地域の文化芸術の飛躍的な発展のために欠かせません。

担い手育成の取組として、例えば、講座やワークショップなどを通じて市民との交流を行うことを条件に、様々なアーティストに活動拠点を提供し、滞在型の制作・練習の場として利用してもらい、アーティスト・イン・レジデンス（AIR）という手法があります。これは、担い手育成を図るという側面と、都市の魅力を向上させる目的をあわせもつものであり、今後、本市での実現可能性について真剣に研究していきます。

また、特別な技術を持っていなくても、必要なときにはスタッフ、ボランティアとして参加しよう、という気持ちのある市民が増えれば、実際に助けになるだけでなく、文化芸術を通じた地域の絆がいつそう深まります。さらに、こうしたことは鑑賞者の層の厚さにもつながり、地域の文化芸術発展の基盤となります。

鑑賞者層の拡大とあわせて、表現する人、企画する人、技術を持つ人、そしてボランティアまで、ワークショップの開催等による幅広い人材育成と情報発信を進めていきます。

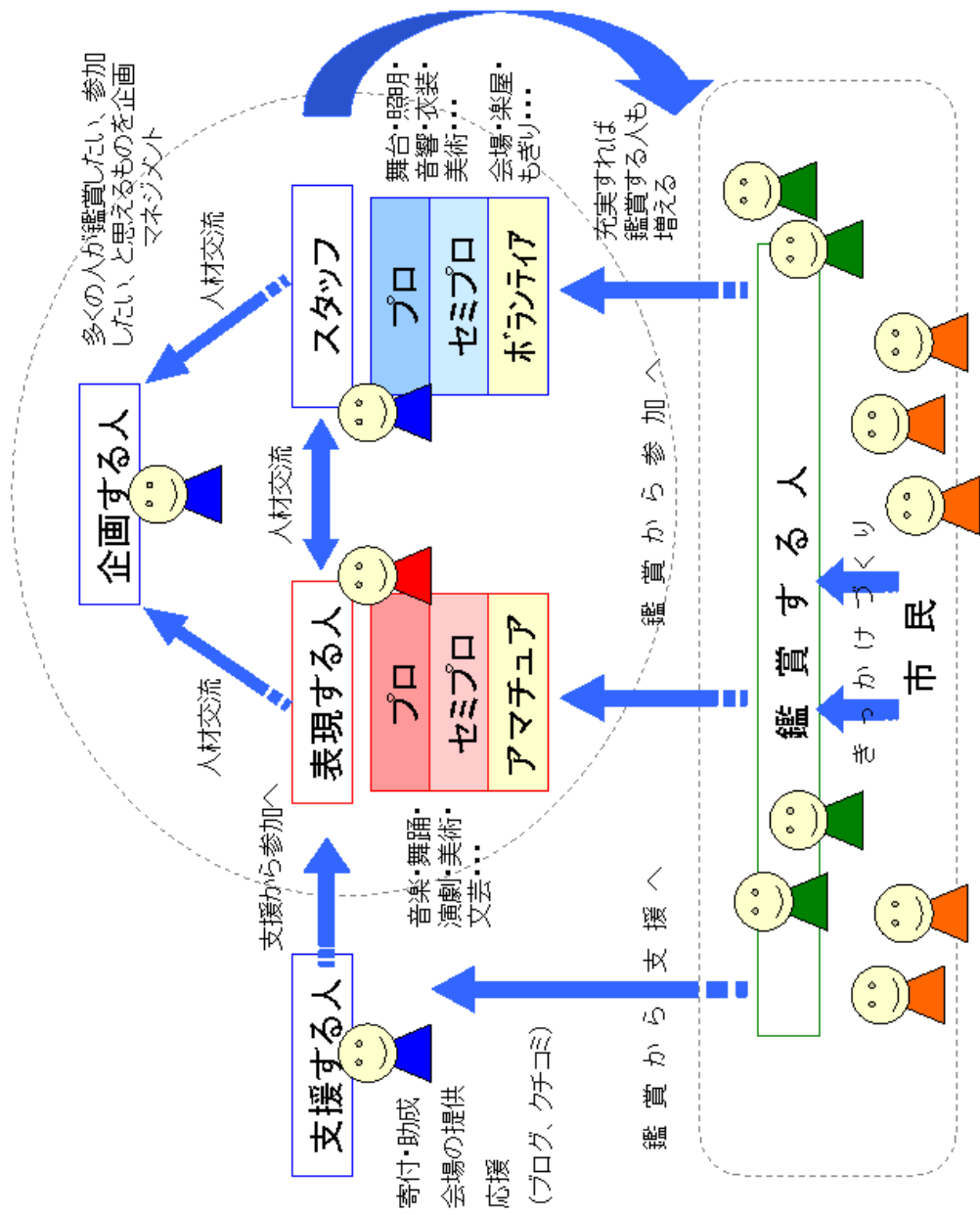
《着眼点》

- ◆表現する人、スタッフ、企画する人等、多様な人材の育成を支援
- ◆ボランティア等で参加する市民層の拡大
- ◆ワークショップ等の開催による人材育成

《おもな事業等》

- 市民学芸員の育成 [デジタルミュージアム]
- 公民館、ふれあいセンター、図書館での講座等の開催
[公民館、ふれあいセンター、図書館]
- 芸術文化事業やイベントを企画運営し自主的・自立的に活動できる
イベントプロデューサーの育成、アートデータバンクの開設
(アーティスト・クリエイターの人材登録制度)
[(財)岡山市スポーツ・文化振興財団]
- 民間の教室、指導者による人材育成との連携 [民間]

文化芸術を担う人材の循環



【都市の魅力】
多様な人材の集積

【人材育成】
色々な形で参加する人が増えて盛んになる。

【参加への橋渡し】
まずは見て、聴いて、楽しむ

【鑑賞のきっかけ】

(2) 子ども・青少年の支援

内閣府が行った「文化に関する世論調査」(平成21年11月)によれば、「地域の文化的環境の充実によって期待する効果」として、「子どもが心豊かに成長する」を挙げた人が最多でした。

また、岡山市の市民意識調査(平成21年度)でも、青少年の健全育成、家庭や地域社会の教育力の向上を重要と考える人が多くなっています。

文化芸術は子どもにとっても大人にとっても必要なものですが、とりわけ日本の伝統文化や郷土の芸能・工芸などにふれることは、礼節を重んじる心を養い、自国の文化を知ることによって他国の文化を尊重できる真の国際人を育てる、といった効果も期待できます。こうした日頃接する機会が少ない分野を中心に、様々な文化芸術の担い手育成の第一歩として、子ども・青少年を対象とする施策に重点的に取り組んでいきます。

《着眼点》

- ◆人材育成の第一歩として、子ども・青少年を支援する。
- ◆日頃接する機会の少ない日本の伝統文化、郷土芸能などを中心に、様々な文化芸術の担い手を育成する。

《おもな事業等》

- チルドレン・ミート・アート・プログラムの拡充
(・優良公演鑑賞事業 ・文化芸術体験教室 ・学校アウトリーチ事業)、
ダンス・インキュベーションの実施
[文化振興課、(財)岡山市スポーツ・文化振興財団]
- 岡山市ジュニアオーケストラの運営
[教育委員会・生涯学習課、(財)岡山市スポーツ・文化振興財団]
- 小学校・中学校の音楽会、中学校の美術展、中学校の作品・表現活動発表会、
鑑賞事業などの実施 [教育委員会・指導課]
- 岡山フィルハーモニック管弦楽団による学校公演(スクールコンサート、
ハッピーハートフルコンサート)、公民館へのアウトリーチ
[(財)岡山シンフォニーホール]

(3) 芸術文化団体間の連携・支援

岡山市で活動している芸術文化団体はジャンルもメンバー構成も多様で、指導者を含む多彩な人材を擁し、地域の文化芸術の重要な担い手となっています。とりわけ、こうした団体間の交流を促進し、ネットワーク化を図ることにより、他

団体の活動に刺激を受けて互いの活動がより活性化する、それぞれの得意分野や人材を活かして補完・協力関係が築かれる、ジャンルを越えて新たな価値（魅力）が創出される、といった効果が期待できます。

岡山市では、これまで、芸術文化団体の登録制度によって、多岐の分野に渡る団体による多彩な活動状況等を把握しながら PR 連携等を行ってきました。このように多種多様な団体を擁するという点は強みですが、それを十分に活かすためには、さらにそれぞれの特性を熟知し、理解することが必要です。今後もアンケートやヒアリング調査、情報交換等により、きめ細かな把握に努めながら、最適な連携・支援方法を検討するとともに、芸術文化団体同士の交流をいっそう促進していきます。

《着眼点》

- ◆ 芸術文化団体同士の交流の促進
- ◆ 芸術文化団体に関する情報を集約、活用
- ◆ 芸術文化団体の特性の把握と、最適な連携・支援の検討
(アンケート・ヒアリング調査、意見交換会の実施など)

《おもな事業等》

- 芸術文化団体の交流促進、岡山市芸術祭などを通じての交流促進、
文化芸術ポータルサイト開設による芸術文化団体に関する情報発信
[文化振興課、(財)岡山市スポーツ・文化振興財団]
- 芸術文化団体登録制度の拡充、芸術文化団体の意見聴取 [文化振興課]

3 文化芸術の活動環境の向上（テーマ3【ささえる】）

(1) 活動環境の向上

芸術文化団体に対するアンケート・ヒアリング調査では、それぞれの団体の多様な活動状況と、担い手の非常に熱心な取り組み姿勢を知ることができた一方、活動にあたっては色々な負担を感じられている実情もわかりました。

共通の悩みとしては、おもに発表場所（施設）について、予約が集中して確保が難しい、使い勝手がよくない、費用がかさむ、といった声が目立ちました。しかしながら、ハード整備には限界がある以上、当面は既存施設の規模や機能・特性に応じた使い分けや、空き情報の集約によって予約の手間を軽減するなど、運用の工夫を図ることが現実的です。そのため、可能なところからインターネットによる空き情報の提供を始め、各施設との連携を深め、協力関係を構築してい

ます。

また、スタッフが確保できないため、公演・イベント等に必要な各種手続を指導者や出演者が自ら行うこととなり負担が大きい、との声もありました。芸術文化団体をはじめ、活動の担い手となる人々にとっては、施設に関する情報、各種制度や届出、手続に関する事など実務に役立つ情報をまとめて入手できれば事務負担の軽減にもなることから、役立つ情報の集約・提供を図ります。

《着眼点》

- ◆各施設の連携協力を進め、運用の改善を図る。
- ◆施設や各種手続に関する情報等、役立つ情報を集約・提供する。

《おもな事業等》

- 施設間の連携、施設情報・空き情報のHP公開
[各施設（公立・民間）※順次、取り組む]
- 文化芸術の担い手に役立つ情報の集約・提供（文化芸術ポータルサイト）
[文化振興課、(財)岡山市スポーツ・文化振興財団]

(2) 様々な支援のかたち

民間にも行政にも文化芸術活動に対する助成・補助金等の支援制度があり、大きな力となっていますが、こうした情報を集約することにより、文化芸術の担い手の利便性向上を図ります。

一方、個人でも様々な文化芸術を鑑賞し、ネット投票に参加したり、クチコミ・ブログで応援するなどできることから、気軽な支援の輪の拡大に努めます。

《着眼点》

- ◆各種助成制度等の情報を集約する。
- ◆文化芸術への気軽な支援の輪の拡大に努める。

《おもな事業等》

- 区づくり推進事業補助金の活用促進
[安全・安心ネットワーク推進室、各区総務・地域振興課]
- 郷土芸能団体育成補助金、郷土民踊普及事業の活用促進
[観光コンベンション推進課]

○各種助成・寄付、メセナ事業の情報収集と活用事例等の PR 推進
(文化芸術ポータルサイト)
[文化振興課、(財)岡山市スポーツ・文化振興財団]

4 文化芸術を次世代へつなぎ、人と人が交流する岡山市（テーマ4【つなぐ】）

(1) 交流促進

文化芸術は個人が楽しむだけでなく、人と人をつなぎ交流を促す効果があります。文化芸術を通じて人と人の交流が進めば、地域の絆が深まり、ひいては地域の課題解決力が高まるという波及効果が期待できます。

また、文化芸術の担い手同士が、所属する団体やジャンルを越えて交流することにより、新たな魅力が創出されるなど、文化芸術そのものの価値が高まることが期待されます。時には企画・イベントを通じてプロとアマチュアの交流機会があれば、プロの技術や取り組む姿勢を目の当たりにすることでレベルアップにつながったり、その後の活動の励みともなります。特に子ども・青少年にとって、一流アーティストとの交流は貴重な経験となります。

そして、文化芸術は国際理解や国際親善といった面からもたいへん有効です。文化芸術は国や地域によって様々な個性があり、その多様性が魅力でもあります。深い部分では人類共通の価値があり、多文化理解を進め、国境を越えて友情を育む近道ともなります。また、日頃から文化芸術にふれることで感性が養われ、多様性を尊重する心が育ちます。

また、文化芸術を通じて世代間交流を進めるとともに、貴重な文化芸術を次世代に引き継いでいくことも重要です。

こうしたことから、人と人との交流および世代間交流の促進を重要な視点の一つとして、文化芸術の振興に取り組んでまいります。

《着眼点》

- ◆文化芸術は人と人との交流を促し、地域の絆を深める。
- ◆担い手同士の交流は、文化芸術の魅力をさらに高める。
- ◆文化芸術を通じて国際交流を促進する。
- ◆世代間交流を促進し、文化芸術を次世代に引き継いでいく。

《おもな事業等》

- 岡山市芸術祭、おかやま国際音楽祭の開催・充実
〔文化振興課、(財)岡山市スポーツ・文化振興財団〕
- 三曲ジュニアフェスティバル（邦楽）の継続・発展
〔(財)岡山市スポーツ・文化振興財団〕
- 日本文化紹介講座、あいフェスティバルの開催、
国際友好交流都市等との文化交流の推進〔国際課〕

(2) 魅力向上

文化芸術を通じて、市内だけでなく、市外・県外・国外からも人が集うようになれば、経済波及効果をもたらすばかりでなく、都市そのものの魅力が高まり、市民の誇りも高まります。多方面から注目を集めた「瀬戸内国際芸術祭」のような全国的イベントのように、「おかやま国際音楽祭」や20年以上の歴史をもつ「マーチング・イン・オカヤマ」でも、市民、県民はもちろん、国内外からの集客を増やせるような企画をしていけば、その効果が一層期待できます。そのため、民間、行政を問わず、観光事業との積極的な連携を図ることにより、魅力あるイベントへと育てていきます。

また、人も郷土の財産、誇りとなります。すぐれた芸術家・文芸家を輩出すれば都市のイメージアップになり、地元では誇りとなり、後進の育成においても大きな励みとなります。本市は日本を代表する児童文学作家である坪田譲治、独特の筆致とキャラクターで人気の作家・内田百閒、渡米し1940年代にはアメリカを代表する画家となった国吉康雄をはじめ、多くの素晴らしい芸術家・文芸家を輩出しています。このため、郷土出身のすぐれた先人達の業績を顕彰すると同時に、現在の岡山市の文化芸術向上における中核的存在として活躍している市民を表彰し、いっそうの研鑽を奨励するため、岡山市文化奨励賞を贈っていますが、本市や県内の他の顕彰制度等を総合的に勘案しながら、顕彰のあり方を検討していきます。また、現代のすぐれた芸術家・文芸家などオンリーワン人材を、発表機会の提供やPRを通して支援します。

そして、岡山市は歴史文化遺産に恵まれた土地です。合併地区をはじめ、地域ごとに独自の歴史や文化が形成されており、それぞれに個性豊かな魅力を持っています。各地域では地域住民が主体となって、継承のための取組や様々な行事が行われていることから、本市の文化芸術振興の面からも、PR等の支援を行っていきます。

また、史跡をはじめとする貴重な文化財を専門家や一部の人の研究対象とするだけでなく、市民が容易に見られる形での保存整備や、わかりやすい案内板の設

置など、市民が岡山のことを学び、郷土に愛着を持つきっかけとなるような取組を進めます。さらに、地元の小さな名所、民俗芸能や習俗、食文化など、より身近な歴史文化資源を市民が共有できるよう、知識・情報の集約と発信を図ります。

また、岡山城下で和風の伝統的建造物と大正レトロな擬洋風建造物が混在し、独特な雰囲気醸し出す出石町の街並み、陣屋町の歴史を忍ばせる足守、庭瀬・撫川の街並み、西大寺観音院周辺の門前町の面影を残す街並みなどは、いつまでも心に残る「おかやまの原風景」です。こうした歴史・文化的景観を、美しい岡山固有の景観として守り、育てていきます。

《着眼点》

- ◆市内および市外・県外・国外からも人が集まる魅力をつくる。
- ◆過去・現在・未来のすぐれた芸術家・文芸家を顕彰、支援する。
- ◆地域ごとに異なる魅力を活かした取組に対し、連携・支援を図る。
- ◆市民が岡山のことを学び、魅力を知るための情報の集約・発信を図る。
- ◆歴史・文化的景観を、美しい岡山固有の景観として守り、育てる。

《おもな事業等》

- おかやま国際音楽祭の開催
[文化振興課、(財)岡山市スポーツ・文化振興財団]
- 花・緑ハーモニーフェスタ in 西川の開催 [庭園都市推進課]
- おかやま桃太郎まつり、おかやま城下町物語の開催、
ももたろう観光センターの運営 [観光コンベンション推進課]
- 民間の各種イベントとの連携（瀬戸内国際芸術祭など） [民間]
- 坪田譲治文学賞の実施 [文化振興課]
- 美術品・工芸品の収蔵品受入の推進、伝統・文化の記録映像制作
[デジタルミュージアム]
- 史跡をはじめとする文化財の保存、整備、公開、活用、
文化奨励賞の実施 [教育委員会・文化財課]
- 歴史・文化的景観の保護 [都市計画課]
- カルチャーゾーン一帯の魅力向上の取組
[企画局、文化振興課、観光コンベンション推進課等、関係課]
- シンフォニーホールでの特色ある公演の開催
[(財)岡山シンフォニーホール]

VI 推進体制・進行管理

文化芸術の振興とそれを通じた魅力あるまちづくりの主役は市民です。そして、行政として進める施策も国、県、市など実施主体は多岐にわたっており、市においても教育機関を含む複数の担当部局が関わっています。また国や県、近隣市町村等の行政機関や各施設との連携も欠かせません。さらに、こうした取り組みは行政だけではなく、芸術文化団体、NPO や民間団体、企業等がそれぞれに主体的に関わっていくことが重要です。こうした、あらゆる主体がそれぞれの強みを活かしながらも、お互いの立場を尊重しあい、連携協力して取り組んでいくことによって、文化芸術のさらなる発展と魅力あるまちづくりにつなげていきます。

なお、振興ビジョンを実効性のあるものとするため、当面の対象期間（平成28年度）の中間点にあたる平成26年度に進行状況の検証を行います。検証にあたっては、総務・市民政策審議会のほか、必要に応じて別表の関係者の中からメンバーを構成し、そこでの議論をふまえた上での進行管理に努めます。

（1）市民・芸術文化団体・NPO

地域の文化芸術発展の主役は市民です。そして市民の文化芸術活動の基盤となる団体やNPOが、それぞれの活動に邁進するとともに、他団体との交流や市民への鑑賞・参加機会の提供など、地域への貢献にも取り組むことが期待されます。

（2）民間企業・民間の財団等

行政との役割分担と連携を図りながら、専門性や柔軟性を活かして、地域全体としての文化芸術環境を向上させる役割が期待されます。

（3）行政機関・教育機関

行政機関は市民生活に幅広く関わっており、都市づくりや地域づくりに総合的に取り組む立場を活かしながら、外郭団体や芸術文化団体等とのつなぎ役として効果的な施策を企画立案していきます。また、次ページに掲載している関係課を中心に、連携を密にしながら取り組んでいきます。

また、国や県、近隣市町村はもちろんのこと、公共施設の設置者としての立場から、各施設とも連携を図ります。

教育機関は子ども・青少年に最も近い立場から、芸術文化と教育との相乗効果をふまえた施策が期待されます。また、生涯学習の観点から、幅広い世代を対象に文化芸術を通じた生きがいづくり等に取り組むことが求められます。さらに、文化財の有効活用、保護、継承にも取り組みます。

【参考】

《岡山市役所内の関係課》

文化振興課 安全・安心ネットワーク推進室
企画局 事業企画調整担当 国際課 デジタルミュージアム
高齢者福祉課 障害福祉課 観光コンベンション推進課
都市計画課 庭園都市推進課 各区総務・地域振興課
教育委員会・指導課 教育委員会・生涯学習課
教育委員会・文化財課 オリエンタ美術館 など

（４）市内文化施設

文化施設は魅力ある公演、特色ある展示により、市民に鑑賞機会を提供するとともに、市民や芸術文化団体の創作・参加・交流の場としての役割も担うことが期待されています。

（５）外郭団体

外郭団体は行政機関に比して専門性や継続性、柔軟性に優るという強みを活かし、文化芸術の振興や観光振興などまちづくりにもつながるよう、行政機関の政策・施策方針を深く理解し、実行する役割を担うことが期待されます。

＜岡山市の外郭団体＞

【（財）岡山市スポーツ・文化振興財団】

文化芸術に関心をもつ人々のすそ野の拡大を図るため、公共性を保ちながらも、市民の多様なニーズに応じて行政ではできない事業を実施し、市民に参加・鑑賞の機会を提供し、潤いのある市民生活の創造と健やかで個性ある地域を造ること、さらには、市民の文化芸術のステップアップを促進する役割も期待されます。

また、学校など教育機関との連携により、子どもが文化芸術にふれる機会を拡大する役割も期待されます。

【（財）岡山シンフォニーホール】

西日本屈指のオーケストラ専用ホールとして、県、市、財界が出資して建設された岡山シンフォニーホールを管理運営するとともに、これまでウィーン・フィル公演やNHK交響楽団の定期演奏会、世界三大テノールの一人ホセ・カレーラスの公演、オペラ「ワカヒメ」の公演、自主文化事業など新鮮で優れた国内外の音楽芸術を提供してきました。これからも、クラシック音楽を中心に、市民に質

の高い音楽を提供することが求められています。西日本の文化拠点としての岡山シンフォニーホールの位置づけを踏まえ、自主文化事業・岡山フィルハーモニック管弦楽団事業を通じて、住民福祉の向上と地域活性化を図る事業展開を行い、質の高い音楽芸術の鑑賞機会の提供、地域文化の創造と振興、発信をめざしています。さらに、カルチャーゾーンの中核施設として、地元商店街との連携にも期待がかかります。

<岡山フィルハーモニック管弦楽団>

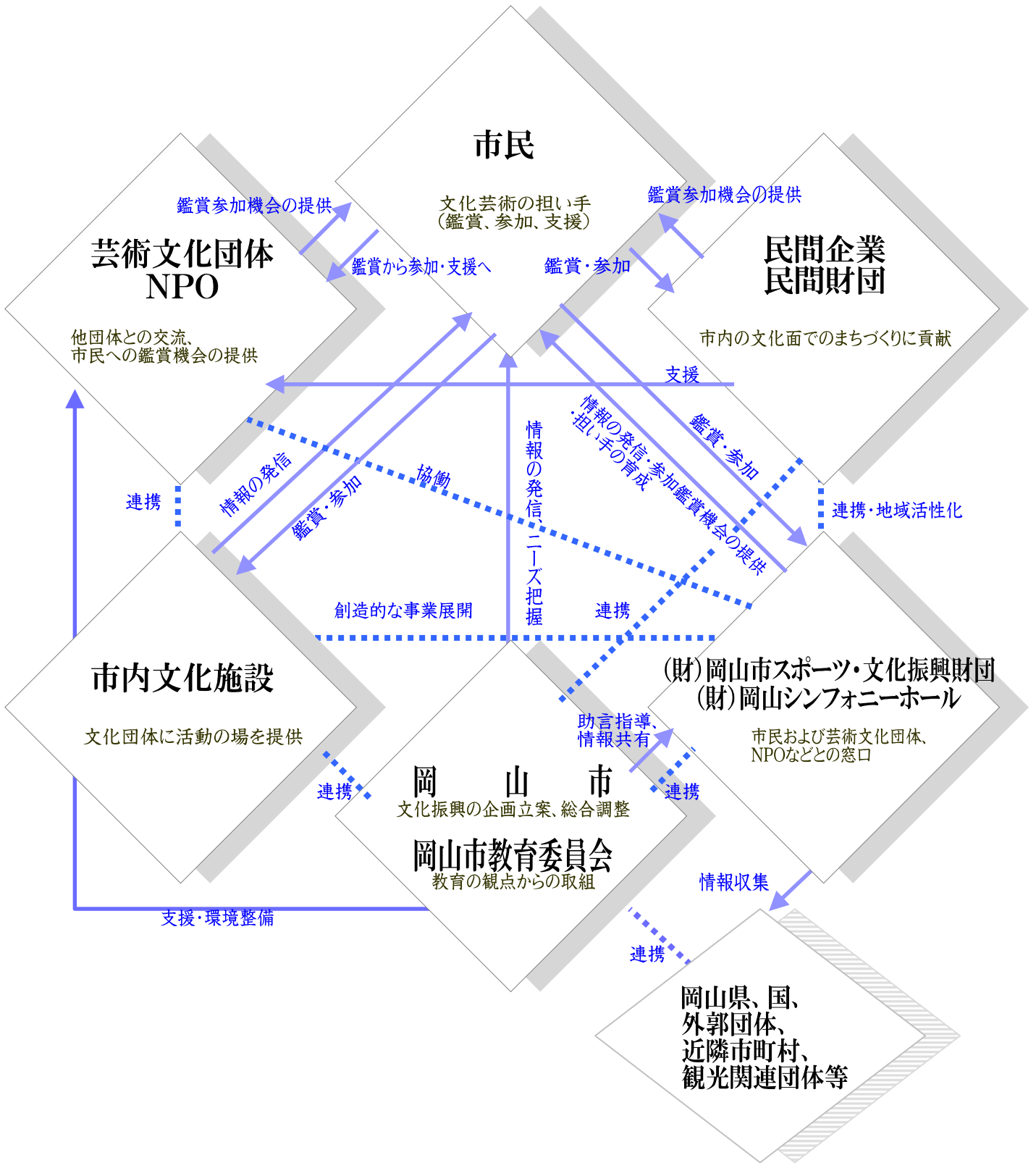
岡山シンフォニーホールを地域に根ざした音楽文化創造の中核とするため、県、市、財界の協力で設立された岡山フィルハーモニック管弦楽団は、定期演奏会をはじめ、県内巡回公演、スクールコンサート、音楽鑑賞教室、ちびっこクラシック、公開レッスン、依頼公演等、各地で数多くの演奏活動を実施しています。今後もクラシック音楽の普及などファン層の拡大をめざして、地域に根ざしたオーケストラとして積極的に活動し、さらなる音楽芸術の普及・向上を図ることが期待されています。

<岡山県の文化関係団体> (参考)

【(社)岡山県文化連盟】

県レベルの文化団体や、各地で地域に根ざした活動を進める市町村文化協会、文化助成や美術館の運営等に携わる公益法人など、現在、103団体が加盟しています(平成23年3月29日現在)。県民文化祭や文化人材バンクを活用した学校出前講座やワークショップ支援を行っています。

推 進 体 制



政策	目的	テーマ	施策類型	おもな事業等	今後の方向性	
文化力で岡山の誇りを高める	岡山に暮らす人々がいきいきと暮らせる豊かな文化都市	テーマ1 【したしむ】	◆市民の鑑賞機会の確保・促進 p.13	岡山市芸術祭 おかやま国際音楽祭 文学フェスティバル ハイレベルな展示・公演 気軽に楽しめる展示・公演 公民館、図書館、美術館でのコンサート 岡山フィルハーモニック管弦楽団によるコンサート実施 (財)岡山シンフォニーホールによる自主文化事業 展示・公演・イベント情報の広報充実 (文化芸術ポータルサイトなど)	文化振興課 (財)岡山市スポーツ・文化振興財団 図書館、文学館 オリエント美術館、 デジタルミュージアム、 各施設(公立・民間) 公民館、図書館、美術館 (財)岡山シンフォニーホール 文化振興課 (財)岡山市スポーツ・文化振興財団	<ul style="list-style-type: none"> まずは鑑賞から。鑑賞は参加や支援の土壌づくりになる。 民間と行政の連携で、多様な鑑賞機会を。 鑑賞のきっかけづくり。わかりやすい情報。
			◆市民参加の促進 p.14	岡山市芸術祭 おかやま国際音楽祭 市民の重賞賞 市民の文芸 西川パフォーマナー事業 講座・クラブ・発表会、ワークショップなど 障害者の芸術・文化活動等の充実 各種イベントでの演奏・ダンスなど 出演機会の創出 園児・児童・生徒の写生大会、 絵画・ポスター募集など創作機会の創出 (緑化、環境保全、平和、障害福祉、 動物愛護、消防、水道、選挙啓発など) (財)岡山シンフォニーホールによる音楽活動 普及事業 芸術文化団体の活動に関する情報発信 (文化芸術ポータルサイトなど)	文化振興課 (財)岡山市スポーツ・文化振興財団 庭園都市推進課 公民館、ふれあいセンター、 福祉交流プラザ、 コミュニティハウス、 オリエント美術館、 デジタルミュージアム 各施設(公立・民間)など 障害福祉課 各担当課 各担当課 (財)岡山シンフォニーホール 文化振興課 (財)岡山市スポーツ・文化振興財団	<ul style="list-style-type: none"> 現行事業の周知、浸透。 きめ細かいニーズ把握、参加体験型イベントの充実。 子ども、高齢者、障害者施策との連携 市民参加に役立つ情報の集約・発信

[表] テーマ別 おもな事業一覧

政策	目的	テーマ	施策類型	おもな事業等	今後の方向性	
		テーマ2 【はぐくむ】	◆ 担い手の育成 p.15	市民学芸員 公民館、ふれあいセンター、 図書館等の講座、 民間の教室、個人指導者との連携 イベントプロデューサーの育成、 アートデータバンクの開設	デジタルミュージアム 公民館、ふれあいセンター、 図書館、民間 (財)岡山市スポーツ・文化振興財団	<ul style="list-style-type: none"> ・表現者および企画、運営、技術等、様々な人材の育成を支援する。 ・ボランティア等で参加する市民層の拡大を図る。 ・ワークショップ等による人材育成 ・第一歩として子ども・青少年を支援する。
			◆ 子ども・青少年の支援 p.18	チルドレン・ミート・アート・プログラム (優良公演鑑賞、文化芸術体験教室、 学校アウトリーチ) ダンス・インキュベーション 岡山市ジュニアオーケストラ 小学校・中学校の音楽会、 中学校の美術展、中学校の作品・表現 活動発表会、鑑賞事業など 岡山フィルハーモニーモニック管弦楽団による 学校公演、公民館へのアウトリーチ	文化振興課 (財)岡山市スポーツ・文化振興財団 教育委員会・生涯学習課 (財)岡山市スポーツ・文化振興財団 教育委員会・指導課 (財)岡山ソフトボール	<ul style="list-style-type: none"> ・団体同士の交流促進 ・情報集約と活用 ・団体の特性を把握
		テーマ3 【ささえる】	◆ 文化芸術団体の 連携・支援 p.18	芸術文化団体の交流 岡山市芸術祭 芸術文化団体の情報発信 (文化芸術ポータルサイトなど) 芸術文化団体登録制度の拡充、 芸術文化団体の意見聴取	文化振興課 (財)岡山市スポーツ・文化振興財団 文化振興課	
			◆ 活動環境の向上 p.19	施設間の連携 施設情報・空き情報のHP公開(順次) 手続等、役立つ情報の集約・提供 (文化芸術ポータルサイトなど)	各施設(公立・民間) 文化振興課 (財)岡山市スポーツ・文化振興財団	<ul style="list-style-type: none"> ・運用の工夫による改善 ・担い手に役立つ情報の集約と提供
			◆ 様々な支援の かたち p.20	区づくり推進事業補助金 (文化・歴史を活かしたまちづくりも対象) 郷土芸能団体育成補助金 郷土民謡普及事業 各種助成・寄付、メセナ事業等の情報集約	安全・安心ネットワーク推進室、 各区総務・地域振興課 観光コンベンション推進課 文化振興課 (財)岡山市スポーツ・文化振興財団	<ul style="list-style-type: none"> ・各種助成等の情報集約 ・気軽な支援の輪の拡大に努める。

[表] テーマ別 おもな事業一覧

政策	目的	テーマ	施策類型	おもな事業等	今後の方向性	
		テーマ4 【つなぐ】	◆交流促進 p.21	岡山市芸術祭 おかやま国際音楽祭 三曲ジュニアフェスティバル(邦楽) 日本文化紹介講座(外国人対象) あいフェスティバル(人権フェスティバル内) 国際友好交流都市等との文化交流	文化振興課 (財)岡山市スポーツ・文化振興財団 国際課	◆相い手同士の交流 ◆プロとアマチュアの交流 ◆国際交流 ◆次世代へつなぐ
			◆魅力向上 p.22	おかやま国際音楽祭 花・緑ハーモニーフェスタin西川 おかやま桃太郎まつり(うらじや) 秋のおかやま桃太郎まつり (伝統芸能ステージ) ももたろう観光センター(魅力発信) 民間の各種イベントとの連携 (瀬戸内国際芸術祭など) 坪田謙治文学賞 美術品・工芸品の収蔵品受入 伝統・文化の記録映像制作 史跡をはじめ文化財の保存・整備・ 公開・活用、文化奨励賞の実施 歴史・文化的景観の保護 カルチャーゾーン一帯の魅力向上の取組 シンフォニーホールでの特色ある公演	文化振興課 (財)岡山市スポーツ・文化振興財団 庭園都市推進課 観光コンベンション推進課 民間 文化振興課 デジタルミュージアム 教育委員会・文化財課 都市計画課 企画局、文化振興課、 観光コンベンション推進課 (財)岡山シンフォニーホール	◆市内および市外・県外・ 国外からも人が集う 魅力をつくる。 ◆過去・現在・未来の すぐれた芸術家・文芸家 を顕彰、支援する。 ◆市民が岡山のことを 学び、魅力を知るため 情報を集約・発信する。

[表] テーマ別 おもな事業一覧

岡山市文化芸術振興ビジョン 効果指標

テーマ1 【したしむ】			
効果指標	H23	H25	H27
文化芸術イベントの鑑賞・参加をした市民の割合 (市民意識調査 H23年度から調査)	55.3%	57.0%	60.0%

テーマ2 【はぐくむ】			
効果指標	H23	H26	H28
文化振興課が実施するワークショップや作品募集 に参加する小中学生の割合	3.3%	3.6%	4.0%

テーマ3 【ささえる】			
効果指標	H22	H26	H28
岡山シンフォニーホールの稼働率	76.1%	78.0%	80.0%
岡山市民会館の稼働率	69.8%	72.0%	74.0%

テーマ4 【つなぐ】			
効果指標	H23	H26	H28
おかやま国際音楽祭への市外からの来場者の割合	28%	32%	35%

【資料編】

用語集

国民文化祭	アマチュアを中心とした国民の各種文化活動の日頃の成果を全国規模で発表し、競演し、交流する機会を提供する日本最大の文化の祭典で、毎年度各都道府県持ち回りで開催されています。平成22年秋には岡山県で第25回国民文化祭・おかやま2010が開催され、県内各市町村で様々な事業が行われました。
岡山市都市ビジョン [新・岡山市総合計画]	平成21年4月の政令指定都市移行にあわせて策定した本市の最上位計画で、都市づくりの中長期的な指針となるものです。めざす都市像として「水と緑が魅せる心豊かな庭園都市」、「中四国をつなぐ総合福祉の拠点都市」を掲げており、その実現のための都市づくりの基本方向（7つの柱）の一つとして、「文化力で岡山の誇りを高める」を位置づけています。
岡山市芸術祭	昭和38年にスタートした本市の総合的な芸術文化フェスティバルです。多くの市民参加を得て、文化団体や市民グループが活動の成果を発表し、特色ある市民文化を創造し、日常生活の中で気軽に芸術文化に触れることのできる機会を提供しています。
ポータルサイト	インターネットで情報を集める際の入り口となるウェブサイト。プロバイダ等が運営する巨大サイトだけでなく、特定のテーマや地域の情報に特化したポータルサイトも注目されています。
アートロード美術館	岡山駅南地下道のショーケースを活用して、文化芸術作品の展示を行っています。アマチュア作家等の活動成果の発表の場であり、また、市民が身近に芸術に触れることのできる豊かな文化的環境づくりを推進する場にもなっています。
ワークショップ	元来は「工房、作業場」を意味しますが、現在は、参加者が共同作業やディスカッション等を通じて行う学びや創造の場、課題解決の場をいいます。文化芸術の分野では、体験教室を指すこともあります。
ユニバーサルデザイン	年齢、性別、言語のちがひ、障害のあるなし等にかかわらず、はじめから、すべての人にとって安全・安心で利用しやすいように、建物、製品、サービスなどを設計（デザイン）する、という考え方です。
アーティスト・イン・レジデンス	アーティストを一定期間特定の場所に招聘し、滞在しながらの作品制作等の活動を支援する事業のこと。支援するかわりに、ワークショップ開催等による住民とアーティストとの交流や、地域の文化向上を期待するものです。
アートデータバンク	振興ビジョンでは、アーティストやその活動を支える人材の情報を収集、登録することにより、人と人とをつなぐ各種サービスを行っていく事業を指します。
アウトリーチ	芸術に接する機会が少ない人々に興味と関心を持ってもらうため、芸術家や企画者側が小中学校などさまざまな団体や施設に出向いて、対外的な体験活動の機会を提供することです。
インキュベーション	「ふ化」を意味し、文化芸術分野では、アーティストの卵や若手作家に、活動場所の提供や資金面の支援等を通じて育成していくことを意味します。
瀬戸内国際芸術祭	平成22年の夏から秋にかけて、瀬戸内海の島を舞台に開催された現代アートの祭典で、全国さらには海外からの参加を含め93万8千人の来場者を集めました。現在、平成25年の開催に向け準備が進められています。
マーチング・イン・オカヤマ	「街角に音楽を」をスローガンに、海外・国内のトップクラスのマーチングバンド・パトントワーリングとの交流によってマーチングやパトンの素晴らしさをアピールすると共に、岡山を「音楽の街」「マーチングの街」として全国へ発信する大会として昭和63年から実施されています。

岡山市の指定文化財件数

平成23年10月14日現在

分類		国指定 (登録)	県指定	市指定	
有形文化財	建造物	建造物 石造美術を含む 12 (国宝1)	20	29	
	美術工芸品	絵画	6	5	4
		彫刻	4	8	9
		工芸品	32 (国宝4)	29	9
		書籍・典籍	1	3	4
		古文書	1	3	6
		考古資料	3	3	1
		歴史資料	2	0	6
記念物	史跡	18	15	11	
	名勝	1 (特別名勝1)	1	0	
	天然記念物	(3) (特別天然記念物2)	2	14	
無形文化財 () 内に保持者数		(2)	3 (3)	0 (0)	
民族文化財	有形民俗文化財	0	2	7	
	無形民俗文化財	0	5	4	
選定保存技術		0	0	1	
文化的景観		0	—	—	
登録有形文化財 建造物		(62)	—	—	
登録有形民俗文化財		0	—	—	
計		85 (62)	99	107	

国指定文化財一覽

平成23年10月14日現在

種別		名称	所在地	所有(管理)者・ 保持者		
有形 文化財	建造物	吉備津神社南随神門	北区吉備津	吉備津神社		
		吉備津神社北随神門	北区吉備津	吉備津神社		
		金山寺本堂	北区金山寺	金山寺		
		岡山城月見櫓	北区丸の内	岡山市		
		岡山城西丸西手櫓	北区丸の内	岡山市		
		吉備津神社本殿及び拝殿 附棟札 (明和六年)・(弘化二年)(国 宝)	北区吉備津	吉備津神社		
		旧犬養家住宅(主屋・土蔵) 附 家相図	北区川入	岡山県		
		吉備津神社御釜殿	北区吉備津	吉備津神社		
		旧旭東幼稚園園舎	北区二日市町	岡山市		
		石造 美術	八幡神社鳥居	北区下足守	鞆守八幡神社	
			鼓神社宝塔	北区上高田	鼓神社	
			守福寺宝殿	北区下足守	守福寺	
		絵画	紙本墨画山水図 雪舟筆	北区天神町	岡山県	
			絹本著色清明上河図	北区丸ノ内	林原美術館	
	紙本金地着色洛中洛外図六曲屏風 一双		北区丸ノ内	林原美術館		
	絹本著色宇喜多能家像[一幅]		北区後樂園	岡山県		
	絹本墨画廬山図 玉潤筆		北区天神町	岡山県		
	紙本著色花鳥図 長谷川信春筆六 曲屏風		北区後樂園	妙覚寺 (管理 岡山県)		
	彫刻		木造聖観音立像	北区法界院	法界院	
			木造不動明王立像〔1軀〕・木造 毘沙門天立像〔1軀〕	北区日応寺	日応寺	
			木造獅子狛犬	北区吉備津	吉備津神社	
			木造聖観音立像	東区竹原	明王寺	
	美術 工芸品		銅鐘		東区西大寺中	西大寺
				太刀 銘井上真改 延宝五年八月 日 附糸巻太刀拵	北区一宮	吉備津彦神社
			太刀 銘則宗	北区後樂園	岡山県	
			太刀 菊御作	北区東古松	林原美術館	
			太刀 銘吉家	北区東古松	林原美術館	
			太刀 銘正恒	北区丸ノ内	林原美術館	
			太刀 銘備前国長船住左近将監長 光造 正応二年十月日	北区丸ノ内	林原美術館	
			太刀 銘光忠	北区丸ノ内	林原美術館	
		紺絲威胴丸 兜、大袖付	北区丸ノ内	林原美術館		
		太刀 銘末守	北区東古松	林原美術館		
		太刀 銘一	北区丸ノ内	林原美術館		
		太刀 銘吉房(国宝)	北区丸ノ内	林原美術館		
		小太刀 銘正恒	北区丸ノ内	林原美術館		
		太刀 銘近包	北区丸ノ内	林原美術館		
		太刀 銘備前国長船住左近将監長 光造(国宝)	北区丸ノ内	林原美術館		
		刀 無銘一文字(伝吉房)	北区丸ノ内	林原美術館		
		太刀 銘正恒(青江)	北区東古松	林原美術館		
		太刀 銘備州住高光作 元亨四年 七月日	北区丸ノ内	林原美術館		
		能装束 繡箔葎水禽文	北区丸ノ内	林原美術館		
		能装束 繡箔菊橘文	北区丸ノ内	林原美術館		

種別		名称	所在地	所有(管理)者・ 保持者	
有形文化財	美術 工芸品	能装束 白地草花文肩裾縫箔	北区丸ノ内	林原美術館	
		能装束 紅白締切菊桐文段替唐織	北区丸ノ内	林原美術館	
		紅地菊枝桐亀甲文唐織小袖	北区丸ノ内	林原美術館	
		能装束 紅地山桜円文蔓草模様縫箔	北区丸ノ内	林原美術館	
		能装束 摺箔紅白段桜花文	北区丸ノ内	林原美術館	
		太刀 銘助真	北区下石井	林原美術館	
		赤韋威鎧 兜、大袖付 附唐櫃(国宝)	北区後樂園	岡山県	
		太刀 銘吉包	北区東古松	林原美術館	
		短刀 無銘正宗(名物九鬼正宗)(国宝)	北区下石井	林原美術館	
		刀 無銘(吉岡一文字)	北区表町	個人	
		綾杉地獅子牡丹蒔絵婚礼調度	北区丸ノ内	林原美術館	
		太刀銘長光	北区後樂園	岡山県	
	古文書	金山寺文書 附金山観音院縁起(七巻)	北区金山寺	金山寺	
	書籍 典籍	信長記	北区津島中	岡山大学	
	考古 資料	特殊器台	北区後樂園	岡山県	
		岡山県大飛鳥祭祀遺跡出土品	北区後樂園	国	
		突線流水紋銅鐸 附貨泉25枚、棒状銅製品1個	北区後樂園	岡山県	
	歴史 資料	アジア航海図(羊皮紙著色)	北区丸ノ内	林原美術館	
	無形文化財		能楽(総合認定)シテ方、観世流		藤井千鶴子
			能楽(総合認定)太鼓方、金春流		梶谷義男
記念物	史跡	造山古墳(第1・2・3・4・5・6古墳)	北区新庄下	岡山市ほか	
		旧岡山藩藩学	北区蕃山町	岡山市	
		大多羅寄宮跡	東区大多羅	布勢神社	
		惣爪塔跡	北区惣爪	国	
		真金一里塚	北区吉備津	国	
		高松城跡附水攻築堤跡	北区高松	岡山市ほか	
		牟佐大塚古墳	北区牟佐	国	
		幡多廃寺塔跡	中区赤田	国	
		神宮寺山古墳	北区中井町	天計神社・北方村惣持	
		津島遺跡	北区いずみ町	岡山県	
		賞田廃寺跡	中区賞田	岡山市ほか	
		尾上車山古墳	北区尾上	岡山市	
		浦間茶白山古墳	東区浦間	岡山市ほか	
		岡山城跡	北区丸ノ内ほか	岡山市ほか	
		岡山藩主池田家墓所	中区円山ほか	曹源寺 個人他	
		大廻小廻山城跡	東区草ヶ部ほか	岡山市ほか	
		万富東大寺瓦窯跡	東区瀬戸町万富	岡山市ほか	
		彦崎貝塚	南区彦崎	岡山市ほか	
		名勝	岡山後樂園	北区後樂園	岡山県
	(天然 記念物)	オオサンショウウオ	地域を定めず		
		タンチョウ	地域を定めず		
		アユモドキ	地域を定めず		

種別		名称	所在地	所有(管理)者・ 保持者	
有形 文化財	登録 文化財	建造物	岡山禁酒会館 1棟	北区丸の内	財団法人 禁酒会館
			大賀家住宅主屋 1棟	北区今保	個人
			大賀家住宅離座敷 1棟	北区今保	個人
			大賀家住宅二階座敷 1棟	北区今保	個人
			大賀家住宅納屋 1棟	北区今保	個人
			大賀家住宅雑具物置及び臼場 1棟	北区今保	個人
			大賀家住宅内蔵 1棟	北区今保	個人
			大賀家住宅土蔵 1棟	北区今保	個人
			大賀家住宅漬物納屋及び荷揚納屋 1棟	北区今保	個人
			大賀家住宅表門 1棟	北区今保	個人
			三野浄水場第一水源取水口 1基	北区三野	岡山市
			三野浄水場緩速ろ過池 1所	北区三野	岡山市
			三野浄水場旧動力室・送水ポンプ室 1棟	北区三野	岡山市
			半田山配水地一号配水池 1基	北区法界院	岡山市
			半田山配水地二号配水池 1基	北区法界院	岡山市
			半田山配水地三号配水池 1基	北区法界院	岡山市
			半田山配水地創建量水室1棟	北区法界院	岡山市
			半田山配水地増設量水室 1棟	北区法界院	岡山市
			半田山配水地旧事務所 1棟	北区法界院	岡山市
			京橋水管橋 1基	北区京橋町～ 中区西中島町	岡山市
			おかやま旧日銀ホール(旧日本銀行岡山支店本館) 1棟	北区内山下	岡山県
			旧京橋火の見櫓 1基	北区京橋町	岡山市
			JR津山線(旧中国鉄道)建部駅駅舎 1棟	北区建部町中 田	岡山市
			岡山大学情報展示室(旧陸軍第17師団司令部衛兵所) 1棟	北区津島中	国立大学法人 岡山大学
			岡山大学医学部門衛所・正門(旧岡山医科大学門衛所) 1棟	北区鹿田町	国立大学法人 岡山大学
			岡山大学医学部正門(旧岡山医科大学正門)1対	北区鹿田町	国立大学法人 岡山大学
			ノートルダム清心女子大学ノートルダムホール本館1棟	北区清心町	学校法人ノートル ダム清心学園
			ノートルダム清心女子大学ノートルダムホール東棟1棟	北区清心町	学校法人ノートル ダム清心学園
			岡山県立高松農業高等学校資料館(旧岡山県立農学校堆肥舎)	北区高松原古 才	岡山県

岡山市内の民俗文化財(文化財指定された祭礼・伝統芸能など)

名称	団体名	文化財指定
西大寺会陽	西大寺観音院	岡山県指定
宮内踊	宮内踊保存会	岡山県指定
吉備津彦神社御田植祭	吉備津彦神社	岡山県指定
志呂神社 御供	志呂神社	岡山県指定
建部祭り	七社八幡宮	岡山県指定
備前岡山獅子舞太鼓唄	備前岡山獅子舞太鼓唄保存会	岡山市指定
津島八朔おどり	津島八朔おどり保存会	岡山市指定
吉備津彦神社流鏝馬神事	吉備津彦神社	岡山市指定
岡山下出石お綱祭り	岡山下出石お綱祭り保存会	岡山市指定